

# おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな  
・アルプス訪問看護ステーション

2023

8

第37巻8号  
(通巻432号)



日本の植物学者の父・牧野富太郎（1862～1957）をモデルにしたNHK朝の連続テレビドラマ「らんまん」が面白い。牧野は多数の新種を発見し、命名も行った近代植物分類学の草分けである。ただ論文を書くだけでなく、全国を飛び回り植物の知識の普及に努めたことで、人々の心の中に永久に残ることになった。戦時中は穂坂村（現韮崎市）に疎開していたこともあって、山梨との縁もある。何かを知るといことは、まずその名前を知ることから始まる。名前が分からなければ調べる。それがモノへの愛を生む。写真はカラマツソウ。花の形がカラマツの葉を思わせることに由来する。今年の夏、上高地の林縁で咲いていた。



—— 峡西病院の理念 ——

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味を一緒に考え、  
より良い人生を伴走していく

## 看護グループマネージャー 新任の挨拶

この7月より、看護グループマネージャーに就任いたしました、高嶋純子と申します。渡邊の後の大役を引き継ぐこととなり、重責に身の引き締まる思いです。看護部は「優しい心で人権に配慮して看護を実践する」という理念のもと、看護師や介護福祉士などの職員が患者さんの看護・介護にあたっています。高齢化が進み、認知症の患者様が増えていく中、地域に根差した病院として、病気や障害を持つ患者様がより自分らしく治療や生き方を選択するための後押しができれば、と思っています。

私事で恐縮ですが、山梨に移り住んで今年で28年目になります。実家のある宮城には18年しかいなかったのですが、人生で一番長く住んだ地がここ山梨になります。



看護グループ 高嶋 純子

面接を受けた病院が陕西病院でした。当時看護協会に就職の相談に行き「陕西病院さんは子供さんの小さい方もいるし、長く働いている方が多いのでどう？」と勧められ、面接に行ったら平成15年10月30日。「明日日から来られるなら採用」と言われて慌てて家族と相談し、11月1日から就職。あれから間もなく20年になるうとしています。患者様との対応は毎日が勉強です。私のやってきた看護はどつだったのかな？あの患者さんはその時のことどう思っているのかな？など振り返る機会も多くなりました。そんな時にはいつも、諸先輩が叱咤激励を、同僚からはたくさん意見を、先輩からは新しい視点やアイデアをいただき、この20年やってこられたと思います。

患者様にここで看てもらいたいと思ってもらえるように、陕西病院の看護師たちに力を借りて、病気に向き合っていきたいなと思ってもらえるようなケアの提供、スタッフの育成、スタッフが陕西病院で働いていてよかった、ここなら自分らしさが発揮できる、と思えるような職場環境づくりに尽力していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

## 修 告 研 報

# 障害者虐待防止研修

日本精神科看護協会山梨県支部研修会事業計画の必須研修として、日下部記念病院精神看護専門看護師（CNS）である春日飛鳥先生よりご教授いただき、精神障がい者や精神科患者への虐待を防止するための具体的な対策を自分なりにまとめてみた。

### ①徹底した教育とトレーニング

医療スタッフや関係者に対して、精神障がい者や精神科患者の特性、尊重と共感の重要性について教育を行うことが大切である。また、虐待の識別方法や報告手順についても明確にしていくことが大切である。

### ②政策とガイドラインの整備

機関内に適切なポリシーやガイドラインを設け、精神障がい者や精神科患者の権利と安全を保護する枠組みを確立する。これには、虐待の定義、報告手順、対応策などが含まれる。

### ③透明性と監視の確保

精神障がい者や精神科患者とその家族に対して、権利や治療計画に関する情報を明確に伝える。ま

た、監視システムの導入や定期的な監査を行い、虐待や不適切な対応が行われていないかを確認する。

### ④患者の自己決定権の尊重

精神障がい者や精神科患者の意思決定能力を尊重し、可能な限り自己決定を促進する。治療計画に関する情報や、患者の合意を得た上での処置や介入を行うことが重要である。

### ⑤倫理委員会や苦情処理委員会の活用

精神障がい者や精神科患者や関係者が不適切な行為や虐待について苦情を申し立てる場所を提供し、適切に対応するための倫理委員会や苦情処理委員会を活用していく。

これらの対策は、精神障がい者や精神科患者へのケアの質と安全性を向上させ、虐待防止に重要である。ただし、地域や機関の状況に応じて、より具体的な対策や適切な教育プログラムを導入することが重要であると考ええる。

# 令和4年度 目標管理発表会



◇最優秀賞◇  
医療相談G  
名取 晃

## 目標

- ・ブリ工病棟の入院患者全員を対象に1年間をかけて入院形態に関わらず、退院支援委員会や家族面談等を1人1回は開催する
- ・今後の見通しを病棟と共有し、その患者に合った病棟の再検討や退院へつなげる

## 動機

法令等の規定上、医療保護入院の患者は退院支援委員会によるカンファレンス開催の定めがあるが、任意入院の患者にはカンファレンス開催の定めがない。また、平成26年3月31日以前の医療保護入院の患者も退院支援委員会の開催義務がない。しかしそれでは長期入院している患者の場合、患者や家族の意向や今後

の方向性が埋もれてしまう可能性がある。また、患者・家族間の思いに溝が生じたり、疎遠になったりする可能性もある。その結果、退院に向けた共通理解に基づく治療や支援が難しくなる。目標が見えづらい状況下では、患者や家族、スタッフの退院に向けたモチベーションが低下する恐れがあった。

## 期待される成果

- ・患者と家族が会う機会ができる
- ・家族が患者の現状を見て、知ることができる
- ・今後の治療や支援の方向性が確認できる
- ・今後の生活支援に役立てることが出来る
- ・その患者らしい生活の実現にチームで貢献できる
- ・患者に適した治療環境の見直しや病棟選択に貢献できる

## 対象者の選定

- ・令和4年5月時点でブリ工病棟に入院している方 38名
- ・内訳
  - ①医療保護入院 24名(内、平成26年3月31日以前の入院者5名)

②任意入院 14名

## 対象者の治療・支援方針

退院支援委員会やカンファレンス開催前の対象者の状況は、

- ①退院支援G (ADL高め、症状安定) …… 9名
- ②院内適応G (ADL高め、症状不安定) …… 11名
- ③介護中心G (ADL低め、症状安定) …… 12名
- ④症状不安定G (ADL低め、症状不安定) …… 5名
- ⑤その他 (グループピング後に入院) …… 1名 (令和4年5月時点)

## 結果

入院形態に関わらず、38名中、36名(実施率95%)に退院支援委員会やカンファレンスを実施できた。各退院支援委員会やカンファレンスには、患者、家族、地域の支援関係者、医師、病棟看護師、関係部署スタッフ等が参加した。

## 患者に対する成果

1. 患者と家族が会う機会ができ、つながりが持てた
2. 患者の意向や現状を確認し、今後の方針や見通しを患者と共に確認し検討することができた
3. 目標達成期間の設定が確認できたことにより意欲の向上につながることができた

## スタッフに対する成果

1. 患者の意向や希望する暮らしを見据えた、チームによる治療や支援提供の基盤になった
2. 患者に関わることへの意欲の向上に貢献した
3. 入院診療計画書を定期的に更新することができた

## 経営に対する成果

1. 治療や支援の方針を明らかにすることで、入院期間の長期化を防ぐことにつながった
2. 今後の病棟選択に役立つ情報を収集し、共有することができた

## 課題

1. 患者の状態の変化や開催によって患者に与える負荷
2. 開催のタイミングや実施判断に関する合意形成
3. 感染症等の外的要因による開催の困難さ

## 今後の展望

今後もブリ工病棟の全ての入院患者に対する退院支援委員会やカンファレンス実施を最低年1回継続し、定例化させていきたい。また、法改正により退院支援委員会の開催数が増える可能性があるため、それを考慮した取り組み方法を病棟全体で検討していきたい。

## OT・PT だより

## 一日看護師

## 風船バレー大会

6月15日(木)に高校生の一日看護師体験がありました。

3年間は、新型コロナの影響で中止となっていました。しかし今年は久しぶりの一日看護師体験再開にもない、恒例の風船バレー大会の開催となりました。全病棟とリハビリテーションセンターの5チームによるトーナメント戦を行いました。1週間前には、各チームのキャプテンによる対戦相手を決める「くじ引き」を行い、勝利を勝ち取るための気持ちを暖めました。

当日は、各チーム10名ほどの選手が参加し、その中に一日看護師さんが加わり、各チーム勝利を目指しました。椅子に座って行うというルールがあるのですが、白熱して立ち上がってしまうこともあり、選手のみなさんが集中して、夢中になってプレーしていました。結果、優勝したのはA病棟で本日の為に用意した新品のトロフィーが授与されました。

一日看護師さんからも感想が寄せられました。「患者様とのコミュニケーションの大切さを学びました」「患者様やスタッフが声をかけてくれてうれしかった」「一人一人が頑張る姿を見て私も頑張るぞ」と気合が入りました。「皆さんと風船バレーができて楽しかった。白熱した」「この体験で看護師になりたいとより強く感じました」などです。

3年ぶりに、みんな揃ってのイベント開催ができました。入場の人数制限は仕方ないですが、また開催できることを願っています。一日看護師さんもご参加ありがとうございました。

## リハビリテーションセンターだより

## Q &amp; A

**Q** これからの目標(夢や希望)が具体的にありませんが利用することはできますか?

**A** ご利用できます。当院のリハビリテーションは「その人の暮らしにおける目標の実現とその準備」と考えております。これからの生活にお悩みのある方で、何かできることがないかを相談することも「目標の準備段階」と捉えています。目標を持つこと自体が辛い方もいらっしゃるかもしれませんが。多職種の専門スタッフが相談に応じながら、ともに悩みながら伴走していきます。お気軽にお近くのスタッフまでお知らせいただけることをお待ちしております。

## プログラム紹介

## 生活充実型グループ「ドリームクッキング」

【活動曜日】 第2水曜日午後(企画)

第4水曜日午前、午後(実施)

【活動場所】 ホームルーム1またはキッチンスタジオ

## 【活動内容】

ドリームクッキングという名前の通り、調理の活動を通して「誰かの、もしくは自分の夢をかなえる」ことを目的としたプログラムです。

現在は、「一日喫茶を開催したい」という目標に向けて、1年かけて喫茶に出す飲み物、軽食の試作や、メニュー作り、接客マナー、ディスプレイ等を学ぶため喫茶店への見学等を行っています。

様々な夢をかなえることを通して、達成感や自分にも何かが出来ると感じられる機会となることを目指しています。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

\*ホームページをぜひ、ご覧ください。

関西病院 リハビリのご案内 検索

# ろうけんTimes

## TOPICS

今月の



3F  
通所  
リハビリ

7月7日、午後よりレクリエーションで七夕会を開催しました。思い思いの願い事を短冊に書いて、飾り付けました。魚釣りのように星を釣り上げて楽しめました。最後におやつに職員手作りのフルーツゼリーを召し上がりました。



2F  
認知症  
専門棟



理学療法士による機能訓練の様子です。この日にご家族様の面会があり、とても嬉しそうにお話をされていました。面会が終わり、少し寂しそうな表情を浮かべていましたが「また元気に会う為に頑張らないとね。」と張り切って訓練をされていました。これからも頑張らしましょうね。



1F  
一般棟



すごく昔から知っている職員がいるという事で、記念に2ショットの写真を撮らせて頂きました。お互いに久しぶりすぎて照れ笑いになりました。



\* 峡西老健のホームページもご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健の理念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを思い、あなたと結ぶ～

# 本の紹介コーナー

今回は、P.N キーさんにおすすめの本を聞きました！

## 本の題名：ぼくの地球を守って（全21巻）

（作者：日渡早紀／出版社：白泉社／出版年：1986年）

### ●読んだきっかけは？

中学生の時、友達のお姉ちゃんに漫画とOVAを借りました。

### ●おすすめのポイントは？

自然豊かな北海道から東京へ引っ越してきた高校生の坂口亜梨子は、植物の気持ちがわかるという不思議な力をもっていた。そんな亜梨子は何かと絡んでくる隣に住む7歳の少年、小林倫を預かった折に、誤ってマンションのベランダから転落させてしまう。倫は奇跡的に軽傷で済んだが、回復を願う亜梨子の祈りが強力な送信テレパスとなり、倫は前世の記憶を思い出し超能力を覚醒する。一方、亜梨子は前世の夢を共有する同級生たちと出会い、自分もその前世の登場人物であることが判明する――。

前世、SF、複雑な人間関係に巧みなストーリー編成。少女漫画だと侮ったら長編の映画を見ているかのような充実感で読んでいて飽きません。わたしは中学生という多感な時期に読んでしまったので「前世もの」といえばぼく地球（たま）一択です。昨今、コロナウイルスも落ち着き生活に余裕が出て来たと思います。そこで一巻一巻大切に読めるぼく地球（たま）を時間を掛けて読んでみてはいかがでしょうか。きっと過ぎ行く日々に彩りをもたらすことなのでしょう。そして月に思いを馳せるようになったら是非教えて下さいね。

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

### ■ 職業倫理

1. 患者の人格の尊厳と権利を尊重し、心のこもった対応をして信頼を得ること。
2. 最善の医療を提供するために、常に学術的知識と技術の習得に努めること。
3. 自らの義務と責任を自覚して人格を高めること。
4. 職場内外の医療専門職の権利を尊重すること。
5. 医療の公共性を重んじて地域社会に貢献するとともに、法規範を遵守すること。
6. 良質の医療を提供するために、自ら心身の健康保持と増進に努めること。
7. 精神障害者に対する理解を深め、精神障害者とその障害を克服して社会復帰をし、自立と社会経済活動への参加をしようとする努力に対して協力すること。

私の趣味は旅行に行く事です。コロナ禍だったということもあり旅行には全然行けていないですが…。次に行きたい旅先を考えて、観光場所を調べてみたり、ご当地のグルメや地酒を調べてみたりすることが好きで、旅行へ行けない期間も調べていました。

私が数年前に行った旅先で印象に残っている場所があるのでお話しさせていただきます。場所は「岐阜県」。飛騨高山で観光し、下呂市にある温泉宿に泊まるというプランです。飛騨高山では、飛騨牛が有名という事で飛騨牛の握りや、コロッケを食べ歩きました。ふらっと入ったジェラート屋さんでは店主の方が、おすすめの観光場所を教えてくださいましたのを見ています。



下呂温泉では、お部屋で夕食を食べ、飛騨牛の焼肉や、しゃぶしゃぶを食べ、様々な形の飛騨牛を一日で堪能できました。私は温泉も好きで、泊まった下呂温泉の宿には様々な種類のお風呂があり、中でも炭酸風呂の心地が良く、今でも印象に残っています。この旅では「食」と「温泉」が私の中でとても印象に残っていました。

コロナウイルスも5類になりましたが、まだまだ怖さもあります。感染対策をしっかりと行い、また旅行に行きたいと思います。ここの1年くらいの間でウイスキーが飲めるようになったので、美味しいウイスキーを求めて旅行がいつかできたらなと思っています。

リストアート病棟 手塚加奈子

# 万華鏡

何年か前に沖縄へ旅行に行ったことを思い出した。行き先は、石垣島、西表島、竹富島である。石垣島では、水中観光船に乗り、「きれいなサンゴが見られたらラッキーです」と言われたがウミガメも見ることが出来た。広くてきれいな海をゆつくりと泳ぐウミガメを見た時は、とても感動したのを今でも覚えている。西表島では、潮風を感じながら、のんびりと牛車に揺られていると、とてもものど

かな気分になった。絶滅危惧種のイリオモテヤマネコは見る事ができなかったが、レンタカーでマングローブを見に行けた事も良い思い出となっている。竹富島では、レンタルで自転車を借り、サイクリングをした。赤瓦屋根の民家の横の細い道やビーチの横の道を走りながらハイビスカスを見たり、きれいな海を見たり、とても癒されたのを覚えている。

その中で一番に残っているのは、やっぱりきれいな海である。言葉ではうまく伝えられないが、透明で南国ならではの熱帯魚やサンゴを間近に見ることが出来た。海の濃淡が鮮やかで美しく真っ白な砂浜もとても心に残っている。

次回行く機会があるとなれば、まだまだ行きたいところは沢山ある。シュノーケリング、ダイビングをして、青の洞窟、魚やサンゴを見たいと思う。恩納村にある景勝地「万座毛」の断崖絶壁に、まるでゾウの鼻のような岩がある景色も見てみたい。沖縄本島中部、西海岸に位置する読谷村にある「ニライビーチ」白く美しい砂浜と透明度を誇る天然ビーチ。本島北部沖に浮かぶ三日月の島。クワツサンアイランドと呼ばれる水納島等。

沖縄旅行は、とても楽しい思い出となっている。今後また機会を作り、訪れたいと思っている。

峡西老人保健センター 佐野

## こちら編集室

「バ美文」という言葉をご存じだろうか。「バーチャル美少女受肉」の略で、美少女のAvatarや3DCGモデルなどを纏ったうえでバーチャル空間の美少女として活動することを指す。

最近、友人の一人が「バ美文おじさん」だということが判明した。「可愛いキャラクターになりきり、ゲームの実況やお酒を飲みながらまつたりとした雑談をYouTube上で配信している」と、数年振りに帰省した際に言われて驚いた。本人の勧めで配信を見てみると、ボイスチェンジャーを使っているため声は完全に女の子。しかし会話の癖や方言で友人を思い浮かべてしまい脳が大いに混乱した。

「今は配信が生きがいだ」と友人は言った。「都会は人間関係が希薄だからネット上で他人との繋がりを持っている」とも。その言葉にどこか少し寂しさを感じながらも、喧噪と孤独の街に帰っていった友人にも心のよりどころがあつて良かったなと心底思ったのであった。

(13)

### 今月の予定 8月

- 9日 院内研修  
「人格障害の理解と対応」
- 24日 病院イベント  
「真夏の熱血スポーツ大会」
- 29日 院内研修  
「アンガーマネジメント」

### 今月の一枚



3歳の娘と庭先で遊んでいた際、娘が私のスマホを手にウロウロ。何をしていたのかな？と思って、後でスマホを見たところ、庭の花を撮影していました。中心から少しズレたオシャレな写真に仕上がっていて、なかなか上手じゃないですか？

### おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

送り火に祖先が帰るお盆かな  
石坂 克巳

えんぴつとスマホどちらも夏の院  
今福 和人

風も失く緑一色夏の午後  
大森真知子

ひまわり畑の背のかくれんぼ  
恵風

打ち上がりドスンとひびく花火かな  
塚原 光明

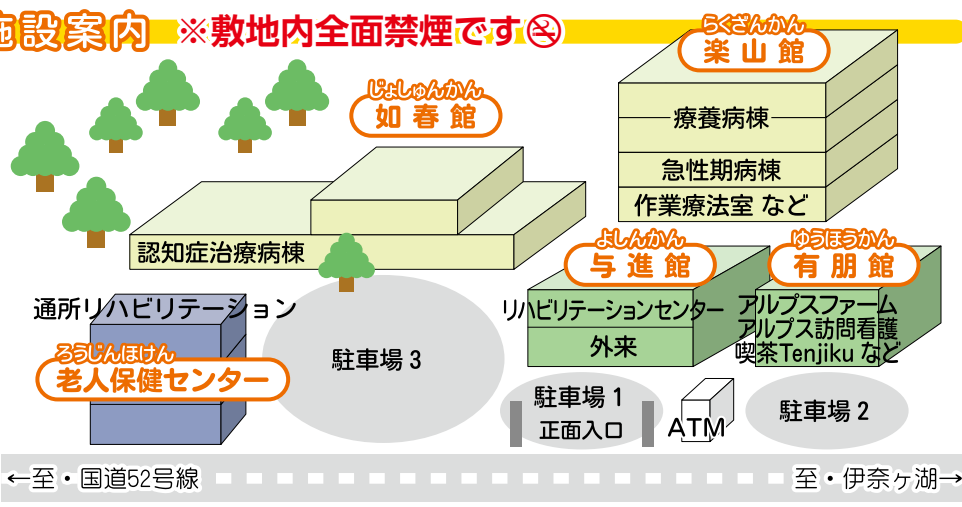
赤い珠天道虫が服につく  
保坂五十鈴

暑い夏海の岸辺にすいか割り  
渡辺 あき

自分の言葉で伝えるということ  
渡辺 奈美子

※掲載は五十音順です。

### 施設案内 ※敷地内全面禁煙です☹



### 交通案内

- JR中央線  
甲府駅より車で40分
- JR身延線  
東花輪駅より車で15分
- 中央高速  
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道  
南アルプスICより車で5分
- 山交バス  
甲府-南アルプス市甲西支所行き (十五所経由) 鵜沢営業所行き (西野経由) 鵜沢営業所行き 小笠原下仲町バス停徒歩5分